

横浜農業協同組合 × 公益財団法人かながわ生き生き市民基金

JA 横浜子どもの未来支援助成

第1回

助成団体紹介



「JA横浜子どもの未来支援助成報告・交流会」
2023年10月7日 JA横浜みなみ総合センター

目 次

JA横浜ご挨拶	1
<子ども食堂・地域食堂部門>	
NPO 法人宮ノマエストロ	2
mignon	2
特定非営利活動法人 コドモノトナリ	3
特定非営利活動法人 さくら茶屋にししば	3
特定非営利活動法人 居場所そら	4
キッズカフェ杉田	4
キッチンひろば	5
こどもすまいる食堂	5
港南台こども食堂みんなのカフェ	6
特定非営利活動法人 だんだんの樹	6
平安・みんなの食堂	7
六浦東・まち交流ステーション委員会 もりのお茶の間	7
コミュニティしんばし食堂	8
金沢子ども食堂すくすく	8
子どもフリースペースいらっしやい運営委員会	9
認定 NPO 法人 あっちこっち	9
<フードバンク部門>	
特定非営利活動法人 フードバンク浜っ子南	10
特定非営利活動法人 さくらんぼ	10
特定非営利活動法人 フードバンク横浜	11
お福わけの会	11
<無料塾、フリースクール、居場所部門>	
ふれあいっ子三ツ沢	12
nico っと	12
NPO 法人 神奈川区多文化共生の会	13
横浜みどりの学校ひまわり	13
特定非営利活動法人 バンブーまなび塾	14
みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ	14
特定非営利活動法人 峠工房	15
NPO 法人 霧が丘ぷらっとほーむ	15
一般社団法人 かけはし	16
TIE トマトマの会	16
NPO 法人 スペースナナ	17
一般社団法人 とえはたえ	17
特定非営利活動法人 介護支援協会	18
特定非営利活動法人 青空保育ぺんぺんぐさ	18
NPO 法人 街の家族	19
わたぼうし教室	19
子ども食堂ハレの日ケの日	20
NPO 法人 街カフェ大倉山ミエル	20
ねっこカフェ	21
特定非営利活動法人 DV 対策センター	21
おはなしの風	22
NPO 法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぼぼ	22
JA 子どもの未来支援助成交流会報告	23
かながわ生き生き市民基金とは	25

この助成が新たな一歩となり、 子どもたちの明るい未来に繋がるように

ＪＡ横浜
代表理事組合長 柳下 健一



「ＪＡ横浜 子どもの未来支援助成」は、ＪＡ横浜創立 20 周年にあたり、地域のために何ができるのかを考え、横浜市内で深刻化する「子どもの貧困」という社会課題に対し、少しでもお役に立てるよう総額 1,000 万円を助成する独自基金として創設しました。

子どもの貧困の背景には様々な社会的要因があり、各家庭を取り巻く環境も一律ではありません。本助成を進めるにあたり、子どもの貧困と向き合い、食の支援などに真摯に取り組む市民団体への視察を通じて、多様で見えにくい貧困の実態を肌で感じるとともに、子どもたち一人ひとりに寄り添って支援を行う市民団体皆さまの強さを実感しました。

助成団体の選考にあたっては、経験豊かな有識者である選考委員の皆さまとともに、一つでも多くの市民団体を応援したいとの強い思いをもって臨みました。

今回、市内で子どもの貧困問題の解決に向けて活動する非営利団体に対し、「子ども食堂・地域食堂」「フードバンク」「無料塾・フリースクール（フリースペース）・居場所」の３つの分野を助成対象とし、申請のあった 42 団体に対して、総額 1,000 万円の助成を行うことができました。

「子どもの貧困」という社会課題の解決は時間のかかることかもしれませんが、今回の私たちの取り組みが、その解決に向けた新たな一歩となり、子どもたちの明るい未来に繋がると信じています。

NPO法人 宮ノマエストロ(泉区)

理事長 高橋 裕子
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂・学習支援に来る子どもに明日の朝食用食材を配布し、朝食の大切さを周知させる事業

★団体紹介

設立年月

2018年4月

団体の目的・活動内容

地域に暮らす高齢者、青少年・児童及びその保護者に対し、介護予防・生活支援、子育て支援に関する事業を行うほか、地域住民の交流を目的とした集いの場を提供することにより地域住民の居場所を作り住民が共に助け合う社会を実現させ、地域社会の福祉の増進に寄与することを目的とする

団体情報

住所: 〒245-0013 横浜市泉区中田東4-59-41

TEL: 045-884-0246

Mail: miyanomaesutoro@yahoo.co.jp

URL: <https://miyanomaestro.or.jp/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子ども食堂に来る子どもたちに、最近朝ご飯を食べない子どもがいることがわかり、次の日の朝ごはんになるような食材を配布し、1日の始まりにきちんとした朝食を取って、規則正しい生活環境のきっかけ作りを担いたいと考えました。朝食の大切さを、家族で考えてもらえるきっかけになる事を願います。

今後も、地域の誰もが参加しやすい居場所づくりとともに、これまで行ってきた活動を通じて出てきた新たな課題解決に向けた発展的な事業に取り組んで参ります。



mignon (戸塚区)

代表 高木 幸
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

多世代地域交流食堂みらころ

★団体紹介

設立年月

2022年1月

団体の目的・活動内容

地域の方々と「あたたかいつながり」「おたがいをしる」「地域でこどもをみまもる」を共有し、こどもを中心に、食を通して地域の方がどなたでも安心してつながれる居場所となり、将来的には提供されるだけでなく参加する側になれる場所にしていき、世代を交代しながら地域に根付く多世代地域交流の居場所の土台を作ることを目的にしています。

団体情報

住所: 〒244-0804

横浜市戸塚区前田町511-2前田ハイツ2-214

TEL: 090-6159-1663

Mail: miracolokiseki@gmail.com

URL: <https://miracolo.crayonsite.net/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

東戸塚は多様な生活様式の家族が多く、利用する方だけではなく地域活動している方や多くの方からの関心が寄せられ、関係者が集まり情報交換ができる場所ともなりました。民生委員や町内会、また小学校の先生方が職員間で連携をとってくださりこどもたちが気軽に立ち寄れる場所となりました。時間の制限や席数などもあり地区センターという公共施設ならではの利点はそのままに、別に活動場所を作り時間や利用者側にあわせることができる居場所作りを実現したいと考えています。東戸塚ならではの多世代の地域の方が安心して集り、顔をあわせるだけでも「楽しい！」と笑顔になっていただける居場所となるよう尽力してまいります。



特定非営利活動法人 コドモノナリ（都筑区）
代表 片岡 恵美子
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂『奏ロケット』を活用した、フードパントリーとしての事業範囲の拡大

★団体紹介

設立年月

2011年5月

団体の目的・活動内容

保育が必要な乳幼児と小学児童に対して安全な生活の場を提供し、子どもたちが自分らしくのびのびと成長するための事業を行い、保護者が安心して就労することを支援しながら親子が共に育ちあえる環境を作り、地域で子育てを見守る町づくりに寄与することを目的としています。

団体情報

住所：〒224-0053 横浜市都筑区池辺町4328 2階

TEL：045-507-4528

Mail：d_kobuta@yahoo.co.jp

URL：https://kodomonotnari.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度はご支援いただき本当にありがとうございました。ホームページのリニューアルやSNSでの配信でたくさんの方に知っていただくことができました。新たな企業からのご支援をいただき、スターバックス様によるバリスタ体験や店舗でのインタビュー体験、近隣の給食製造工場からの食材の寄付、ネパールで孤児院を設立・運営している社会活動家の竹中さんとの交流、学生の子たちと一緒にゲーム形式の地域清掃など様々なイベントを開催することができました。普段体験できないようなこと、普段聞くことのできなかった環境の話、今回のご支援のおかげで子どもたちに貴重な体験機会を作ることができました。保護者の方々から「家族で環境についてや社会問題について話すきっかけになりました」「子どもがコーヒの淹れ方を覚え、家族のために作ってくれて嬉しかった」等の感想もいただきました。地域清掃においては、頑張った子どもたちに地域のスーパー様から駄菓子の寄付もいただき、子どもたちにとってとても嬉しいイベントになりました。



特定非営利活動法人 さくら茶屋にししば(金沢区)
代表 岡本 溢子
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

大家族事業（愛称：さくら食堂）

★団体紹介

設立年月

2010年5月

団体の目的・活動内容

コミュニティ・カフェ

子供から年配者まで、地域の人たちの居場所づくり・多世代交流を通して、安心安全なまちづくりを目指しています。

団体情報

住所：〒236-0017 横浜市金沢区西柴3-17-6

TEL：045-516-8560

URL：http://sakurachaya.moo.jp/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナウィルス感染症によって、テイクアウト形式で続けていた「街のみんなでご飯を食べよう・大家族食堂事業」ですが、この助成金に背中を押していただき、2023年度に対面式に戻すことができました。店内飲食に戻すための一番の問題は、店内装飾やキッチン備品でした。長く営業していなかったことにより、古びて清潔感にやや問題があった店内を刷新するために、イスや鍋などの備品を新しくしました。新品の鍋などを使って作ったカレーを、子供たちが「待ってたんだよ！」と言いながら食べていた光景は、店内飲食に切り替えなければ見られなかったものです。小学校の先生たちが子どもたちと一緒に食べたり、「にぎやかなのいいわね」と、近所のひとり暮らしのお年寄りが来てくださったたり。まさに「街のみんながひとつの家族」のように夕飯を食べる事業を支えてくださったことに、感謝の想いで一杯です。本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 居場所そら（保土ヶ谷区）
理事長 水信 理恵
助成金額 130,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

地域で地域の子どもを育てよう！を合言葉に子どもたちが安心して過ごせる居場所を開設しています。地域と学校とが連携・協働して誰もが安心して過ごし学べる場所をつくり、子どもや青少年及びその保護者を支援し、人と人とのつながりを大切にしたい地域社会の発展に寄与することを目的とします

団体情報

住所：〒240-0044

横浜市保土ヶ谷区仏向町1167-2

URL: <https://ibasho-sora.themedia.jp/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成をいただき、心より感謝申し上げます。月に1回の子ども食堂（地域食堂を1年間開催し、地域の子どもたちの笑顔にふれることができました。地域の飲食店さまにご協力いただいたメニューや、地域の農家さんからお野菜を提供いただいたり、自治会さまのご協力のおかげで開催することができました。定期開催することで地域のみなさまに「そら」のことを知っていただくことができ、いつも来てくれる方や声をかけてくれる方も増えてきました。これからも地域のみなさまとのつながりを大切にして、スタッフも楽しく、笑顔溢れる温かい食堂を目指していきます。



キッズカフェ 杉田（磯子区）

代表 久保田 顕

助成金額 153,300円

★助成した事業・活動

①子ども食堂利用の子供に対する「勉強、相談支援」

②体験型子ども食堂安全確保

★団体紹介

設立年月

2017年4月

団体の目的・活動内容

目的: 支援の必要な家庭（こども達）へ「食と絆」をお届けする

活動: 毎月1回、こども食堂を開催し“弁当”“食品セット”“生活支援品”を渡して応援するその中で体験型の活動やイベントを開催。毎月1回、ひとり親家庭へ訪問し、食支援と相談支援を開催

団体情報

住所: 〒235-0036 横浜市磯子区中原4-24-1

TEL: 045-772-1716

URL: <https://sugita-christchurchjimdo.com/kidscafe/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度はコロナやインフルエンザなどの流行病に対する事前の防止として、非接触型の体温計を購入いたしました。私達のこども食堂には200人以上の利用者がおり、会場に開始20分前から渋滞する形で並ぶ方々なので、きちんとした時短での防疫をすることが必要でしたが、良い性能の体温計を活用することで、受付がスムーズに進むことができ、大きな混乱もなく安全に流行病の対策をして開催することができました。またこの度の助成で購入したパソコンを通して、若者たちからの相談を受け付け、身近な相談から学校などのことについてもコミュニケーションを持つ事ができました。子ども達との交流を深めたり、相談にのるための時間の確保とツールにおいて、とてもオンライン活用は有用でした。



（非接触型体温計の活用）（パソコンの活用）

キッチンひろば（港北区）
代表 北垣 美穂
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

菊名みんなの広場内での食事提供、食支援活動

★団体紹介

設立年月

2021年4月

団体の目的・活動内容

食事提供活動によって、これまで培ってきた地域住民との交流を維持し、さらに学習支援対象の児童を介してその家族や友人、さらにはその先の支援の声が届いていない家庭や個人へ、菊名みんなのひろばが行う食支援活動を広く周知することを目的とし、子ども食堂、親子食堂等行う。

団体情報

住所：〒222-0013

横浜市港北区錦が丘17-7 菊名みんなのひろば内

TEL：045-294-3691

Mail：hiroba.n177@gmail.com

URL：https://kikuna-hiroba.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

キッチンひろばとしての活動は、この4月で4年目となりますが、今年度は今までにない物価高騰を肌で感じました。コロナ禍では出来なかった食事をしながらのコミュニケーションができるようになり、子ども同士、親同士の交流も広がりを見せていて、とてもいい雰囲気になっていることをうれしく思います。食事の後は、みんなで本を読んだり、勉強したりと菊名みんなのひろばでそれぞれの過ごし方をしている子どもたちの姿があります。年齢も学校も違う、ひろばでの交流は、子どもだけではなく親御さんにとってもいい時間になっているようです。また今年度は初の試みとして、夏休みの子どもたちへ1食200円でお弁当の販売を行いました。共働き家庭の子どもたちや親御さんの食事の支度の支援になればと思い企画しました。冬休みもやってほしいとのリクエストもあり、喜んでいただけたようです。助成していただいたお陰で、昨年以上の活動することができ大変感謝しています。



こどもすまいる食堂（磯子区）
代表 篠塚 妙子
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

フードパントリー

★団体紹介

設立年月

2018年2月

団体の目的・活動内容

孤立を防ぎ、子ども達が少しでも食事に困らないよう食事を提供。ゲームや折り紙などの遊び場所を作り、居心地の良い空間を作る。

団体情報

2023年12月15日より当団体メンバーの都合により活動を休止しています。

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍の中でも食堂として問われた事は、変容でした。食品への提供に変更しました。親御さんたちにはフードパントリー。こども達にはお弁当を毎回70食用意しました。5類へと移行してからはこども食堂も通常どおりの運営となり、ホールの中では楽しそうな歓声が響きわたりました。フードパントリーは一人親世帯のみに切り替わり、12月は17世帯（こども30人を含む）支援が出来、ボランティア同地域へ貢献出来た事を誇りに思っており、手を差し伸べて下さいましたJA様には感謝の念が絶えません。心より御礼申し上げます。



港南台子ども食堂みんなのカフェ（港南区）

代表 佐々木 きょう子

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂・フードパントリー事業

★団体紹介

設立年月

2017年4月

団体の目的・活動内容

目的: 港南台地域において定期的に食事及び居場所を提供することも食堂の開催を通して地域社会に貢献すること
内容: 毎月1回 第3火曜日の夕食の提供。食育のための読み聞かせや遊び。イベントの開催(夏祭りやクリスマスなど)

団体情報

開催場所: 港南台地区センター

Mail: minacafeK@gmail.com

Facebook: (港南台子ども食堂みんなのカフェ)

助成をうけて...の思い・メッセージ

この度は、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。私共の食堂は赤ちゃんから高齢者まで、栄養的で温かい手作りのご飯を、みんなで楽しく食べて笑顔になってもらい、明日の元気に備えて欲しいとの思いで活動してきました。新型コロナウイルス感染症等により活動がままならず、止む無く食品無料配布や休会になったこともありましたが、専門家の情報等を参考に、消毒の徹底など衛生管理の強化に加え、アクリル板の設置等の対策を講じました。物価高騰により食材費もかさむ中、食事の質を維持することに腐心しておりました。こうしたコストの上昇に対処するのは、参加費(大人のみ)だけでは到底まかなえず、様々な支援者からのご協力無くしては困難でした。JA横浜様、及びかながわ生き生き市民基金様のご支援は、大変な支えとなり現在に至れたと思っております。誠に有り難く感謝の念に堪えません。参加者も徐々に増加しており、私共に対する期待も大きくなっていることを痛感しています。子ども達の笑顔の為、そして参加者にとって物理的にも心にも豊かになる癒やし・憩いの貴重な場を提供するため、ますますこの食堂を盛り立てていきたいと思っています。



特定非営利活動法人 だんだんの樹（泉区）

代表 服部 恵津子

助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

学習応援・こども地域・ファミリー食堂

★団体紹介

設立年月

2001年7月

団体の目的・活動内容

地域の困りごとに対して「できることから」と、ボランティア活動を始めました。その後介護保険事業者となり、訪問介護・居宅介護支援(ケアマネジャー)・小規模多機能型居宅介護・障害者支援を運営してきました。事業に従事しながらも「お互いさまのたすけあい」の輪を広げ支え合う地域をめざして、利用者や地域の方々が「非日常」を楽しめるようにバスハイクや食事会、サロンなどを企画し、ボランティア活動も継続していました。平成28年横浜市地域福祉交流拠点整備事業の助成を受け、地域の居場所として「コミュニティだんだん」を開所しました。

団体情報

住所: 〒245-0008 横浜市泉区弥生台27-2

TEL: 045-815-2516

URL: <https://dandannoki.com/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

「JA横浜子ども未来支援助成」の助成金をいただきありがとうございました。認定NPO法人だんだんの樹が、コミュニティだんだんを開所し地域の居場所として9年目を迎えます。「学習応援・こども&地域食堂」や「ファミリー食堂」は、ボランティアさんの声から始まりました。こども達だけでなく、地域の方も一緒に夕食をとります。高齢者や食事を作ってくれるボランティアさんとのふれあいを肌で感じられるひと時です。毎回、季節の野菜を使ってバランスの良い栄養豊富な食事を提供したいと考えています。この物価高での食材調達に助成金はとてもありがたかったです。また、ボランティア活動費の一部にも充てることができました。ここは、こども達にとってもボランティアさん達にとっても居場所になっています。こども達や地域の方々との多世代交流が、こども達の笑顔となりボランティアさん達の活力にもなっています。ここを巣立って成長していくこども達がとても楽しみです。



平安・みんなの食堂（鶴見区）
会長 河西 英彦
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂・フードパントリー

★団体紹介

設立年月

2019年5月

団体の目的・活動内容

- ・子どもたちを取り巻く豊かな生活環境、居場所づくり・団体の食卓・食育・地域とのつながり
- ・子どもの貧困問題の一助になることを願って

団体情報

住所：〒230-0031 横浜市鶴見区平安町2-2-5

TEL：090-3246-4558

Mail：h-kasai@me.point.ne.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

地域のボランティア活動、JA横浜さんのご支援に応えるために、平安小学校の支援学級さんの総合学習として「食べているお米はどこから来るの？」の開催や稲作教室をさせて頂きました。田植えから稲刈り、ハサ掛け、脱穀と体験が出来ました。食の感謝の言葉も沢山いただきました。一粒のお米にも生産者の作業風景が浮かんでくるとの感想が有りました。子ども食堂のご飯も一粒も残さず食べています！との1年生のかわいらしい手紙が有りました！



六浦東・まち交流ステーション委員会
もりのお茶の間（金沢区）
会長 岩崎 健一郎
助成金額 172,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂・フードパントリー・学習支援

★団体紹介

設立年月

2014年11月

団体の目的・活動内容

多世代交流型の居場所として開設する。月曜から金曜までお昼のランチを提供している。またその前後では喫茶行っている。子どもたちには子ども食堂（年4回）、大学生対象にフードパントリーを第一金曜日に実施、大人向けには茶道教室、書道教室、西洋美術史などの講座を開設している。

団体情報

住所：〒236-0037 横浜市金沢区六浦東1-2-8

TEL：045-701-4860

Mail：mouri@chic.ne.jp

URL：http://www4.hp-ez.com/hp/mutuhi

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

六浦東・まち交流ステーション委員会は「もりのお茶の間」として、多世代交流の場として活動しております。通常は月曜から金曜まで日替わりランチを提供しており、最近ではお客様の数も増えてきております。もりのお茶の間としての子ども支援は①子ども食堂でキーマカレーを毎回100食提供する。年4回の開催であるが、ほぼ15分で完売となるほど、子どもたちには人気の催し物となっている。②学習支援の場として、2階スペースをレンタルし提供している。毎月、寺子屋2回、そろばん1回、計3回をサポートしている。通常2時間1000円のレンタル料を半分に支援している。③毎年春にはふれあい祭りを開催し、地域の皆さんとふれあいの場として、活動している。カレーライス、五目ずし、ビンゴ大会など、こども中心のメニューになっており、多くの子どもたちが参加している。



コミュニティしんばし食堂（泉区）
代表 伊東 容子
助成金額 150,000円

★助成した事業・活動
地域食堂・フードパントリー

★団体紹介
設立年月
2016年7月

団体の目的・活動内容
地域で、一人で食事をしている子どもたちや高齢者、未就園児とその親まで利用できるコミュニティ食堂を開催するとともに、放課後の安全な居場所を提供する。現在の活動の中で、支援家庭（ひとり親家庭、一人暮らし高齢者、生活にお困りの家庭など）に食糧品配布だけでなく、相談相手の一つとして考えてもらえるようコミュニケーションを密に取っていきたい。

団体情報
住所：〒245-0009 横浜市泉区新橋町1040-12
TEL：045-812-6389

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

「JA横浜子ども未来支援助成」を受けて、活動を継続することができてありがたかったです。支援のおかげで、今までの支援家庭への食糧品配布が8世帯から18世帯に拡大することができました。また、ひとり親家庭の1世帯からは「お金がないから、お米を何とかいただけませんか。」というSOSの連絡があり、すぐにお米とすぐに食べられるインスタント麺、レトルト食品などを届けました。今までの活動から信頼していただいていることを感じました。これからも地域福祉に貢献していきたいと考えているので、JA横浜からの助成をお願い致します。



金沢子ども食堂すくすく（金沢区）
代表 加々美 マリ子
助成金額 200,000円

★助成した事業・活動
金沢子ども食堂『すくすく』
ひとり親食料支援『ホッとサロンすくすく』

★団体紹介
設立年月
2017年3月

団体の目的・活動内容
地域みんなで子ども達を育てる「大きな家族」です。食事、食材の提供を通してお腹も心も満たす居場所を築きます。
・子ども食堂すくすく・・・子ども主体で誰でも参加可能
・ホッとサロンすくすく・・・お母さん主体で一人親家族のみ参加可能 開催に併せて学習支援や工作、各種体験活動やイベントを行っています。

団体情報
TEL：080-5086-4940（加々美）
Mail：kanazawa.sukusuku@gmail.com
URL：https://sukusuku.amebaownd.com/
Facebook：http://bit.ly/2kH9bXH

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は私達の活動へのご理解いただき、助成くださったことに心から感謝申し上げます。昨今のコロナ禍や物価高で一人親家族は経済的・精神的負担を強いられてきました。すくすくでは今まで以上にご家族に寄り添う大切さを感じています。この度の助成で、夏祭りや正月などのイベントを行い、季節のフルーツやしいたけ、正月用のお餅などを提供することができました。すくすくは、食事や遊びを通して参加家族に「ホッ」としてもらうことで一人親家族に生じる負の連鎖を断ち切ることが幸せへの近道だと考えております。今後も参加家族の心の声、悩み事などに耳を傾け、自立した生活が送れるよう、各所と連携しながら、孤立するご家族がいなくなることを目指します。



子どもフリースペースいらっしやい運営委員会（南区）
代表 小川 博芳
助成金額 182,200円

★助成した事業・活動

「スポーツフィットネス・フードパントリー」

★団体紹介

設立年月

2020年1月

団体の目的・活動内容

生活に困窮する家庭の子ども達に、食事や食材提供、学習指導、居場所を提供することで家族が少しでも豊かで明るい生活と社会づくりができるように活動しております。スポーツジムのオーナーの協力を得まして、軽快なキックボクシングフィットネスや親子で一緒にできるリフレッシュ運動を実施することにより笑顔で日常生活ができるように多様な方の支援を受け実施しています。子どもたちに笑顔と優しい思いを継承していけるように活動を推進しています。

団体情報

住所：〒232-0066 横浜市南区六ツ川1-714

TEL：070-1502-0110

Mail：irassyai@jcom.zaq.ne.jp

URL：https://sites.google.com/view

/kodomo-free-space-irashai/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ひとり親家族や困難な課題を抱えている子どもたちが安心して暮らすことができるように、こども食堂や学習支援等の仕組み作りを目的に24名のメンバー（常勤スタッフ5名、登録スタッフ19名）で子ども食堂を昨年4月から再開し18回開催しました。延べ参加人数506人が利用いたしました。食事の準備は管理栄養士がハサップの手順で調理を実施し、持続可能な開発目標SDGsと子ども食堂は親和性が高くSDGsに取り組まれている企業や団体などに子ども食堂と連携することで貢献を可能にして協力を頂いております。貴団体からの子ども食堂、フードパントリー等の活動は食育から共食を通してごはんの楽しさを肌で感じてもらう取組を推進できていることに感謝と御礼を申し上げます。これからは地域に子どもが安心して過ごせる場所とこどもの成長支援につなげる活動をしながら食材ロスを減らし利用者さんに活動の趣旨を理解していただくように推進していきます。



認定NPO法人あっちこっち（中区）

理事長 厚地 美香子

助成金額 186,000円

★助成した事業・活動

親子で楽しむ♪子ども食堂とアート体験

★団体紹介

設立年月

2011年8月

団体の目的・活動内容

日常生活の中で身近に、芸術を見たり、聴いたり、体感したりすることで、さまざまな人が、共に楽しく元気に生活することのできる社会を目指し、次の活動を基盤としております。
1、地域に寄り添った芸術イベントの制作 2、学校でのアウトリーチ活動や子どもの芸術体験の創出 3、音楽とお菓子を一緒に届ける被災地支援活動 4、芸術を通じた国際交流事業

団体情報

住所：〒231-0852 横浜市中区西竹之丸61-5

TEL：090-1261-1308

Mail：info@acchicocchi.com

URL：https://www.acchicocchi.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

1年間たくさんのご支援をいただき、ありがとうございました。概ね月に1度のペースで、音楽・美術・ダンスといった芸術体験と、出来立ての料理を参加者の親子とともに味わい楽しむという内容で活動する私たちですが、思い返すと昨年5月に施行された感染症対策の緩和が多面的に良い効果をもたらしていました。これまで参加者との距離を保ちコンサート形式としていた音楽のアート体験は、歌唱指導や合唱、楽器体験など実際に子どもたちが本物に触れながら学べる内容を取り入れられたこと、また近隣の保育施設で訪問演奏を実施し始めたことも大きな出来事です。一方でお食事前に企業や団体の協力により食育講座を開催出来たことで、「貴重な経験を気軽にできる」アート体験と「当たり前のことを深く知る」食事を融合させるという理想的な形式が築かれつつあることを実感しています。これからも地域の方々にとって居心地よく有意義な活動を目指し努めてまいります。



特定非営利活動法人 フードバンク浜っ子南
(戸塚区) 代表理事 下山 洋子
助成金額 400,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂等地域団体への食品提供によるひとり親家庭支援事業

★団体紹介

設立年月

2020年6月

団体の目的・活動内容

充分食べられるのに活用されない食品を個人・団体・企業から寄贈いただき、食の支援が必要な方々へ無償で提供する活動をしています。このことを通して食を分かち合い助け合える心豊かな社会を作ることを目的にしています。

団体情報

住所: 〒245-0067

横浜市戸塚区深谷町1252-13ドリームハイツ3-203

TEL: 080-9201-4357

Mail: smile@fbh-minami.org

URL: <https://www.fbh-minami.org>

助成をうけて...の思い・メッセージ

この度の助成を、フードバンク活動に欠かせない倉庫の賃料や運搬費用に活用させていただきました。このことで、地域の子ども支援団体や施設への食品提供を充実させることができました。年度初めは連携23団体でしたが現在約30団体に増え、中でも新しく立ち上げた子ども食堂を応援できたことも嬉しい成果でした。日頃食支援を続けているなかで、ひとり親家庭を地域のつながりで支える重要性を痛感しています。子ども食堂や居場所、学習支援などの活動は、フードバンクの手の届かない支援をされています。これからもこうした団体や、さらにファミリーホームなど困難を抱える子どもを支援する方々と食でつながり、ひとりでも多くの笑顔を増やしていきたいと願っています。



特定非営利活動法人 さくらんぼ (瀬谷区)
理事長 宮本 早苗
助成金額 271,000円

★助成した事業・活動

来所型フードバンク「くろーばーマーケット」

★団体紹介

設立年月

1997年4月

団体の目的・活動内容

「参加障害のない街づくり」をミッションに以下の活動をおこなっています。

保育事業: 認可保育園(2園)、小規模保育(4園)、乳幼児一時預かり事業(2園)

子育て支援事業: 地域子育て支援拠点、親と子のつどいのひろば事業

・放課後児童健全育成事業、児童家庭支援センター事業、個別支援事業(ヘルパー派遣事業)、居住支援事業、フードバンク事業

団体情報

住所: 〒246-0022 横浜市瀬谷区三ツ境17-1

TEL: 045-367-7224

Mail: info@sakuranbo.or.jp

URL: <https://www.sakuranbo.or.jp/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

今回の助成は、NPO法人さくらんぼの来店型フードバンク「くろーばーマーケット」の備品・消耗品の購入に活用させていただきました。くろーばーマーケットの特徴は①食の支援が必要な方であれば誰でも利用できる、②食品が必要になったタイミングで、必要なものを持ち帰れる、③地域の見守りとしての機能、の3つです。「支援する側・される側」ではなく、今余分にあるものをおすそ分けする近所の人のようなフラットな関係性を築きながらのスタンスを大切にしています。2021年のスタート時には50名程度だった利用登録者は、2024年3月時点で180名と3.6倍程度に増加しています。お子さんのいるご家庭、中でもひとり親のご家庭も多く、お米などの基本的な食品だけでなくお菓子や文具などもとても喜ばれています。地域の子どもたちがゆるやかに見守られながら育つことを目指して活動しています。この度は助成をいただきまして、本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 フードバンク横浜
(神奈川区) 理事長 加藤 安昭
助成金額 324,480円

★助成した事業・活動

ひとり親への食支援と親子食堂事業

★団体紹介

設立年月

2016年12月

団体の目的・活動内容

活動理念:「誰も置き去りにしない、助けられる側から助ける側への自立応援」

活動内容:一人親食支援、親子食堂、子ども未来塾、路上生活者を含む貧困者救済 フードステーション横浜、フードドライブ

団体情報

住所: 〒221-0052 横浜市神奈川区栄町16-1-304

TEL: 045-512-4965

Mail: thanks@fbyokohama.jp

URL: <http://www.fbyokohama.jp>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成をいただきありがとうございました。今回の親子食堂は毎月実施の横浜市内4会場のうち、調理室を併設している神奈川区の会場で、食支援催事に合わせて実施することにしました。神奈川会場は当初は平均30名ぐらいのひとり親が支援会場に来場する程度でしたが回数を重ねるごとに子どもを連れたシングルマザーが増加し、先月では50名以上の来場者数を数えるようになり、同伴の子どもも増え特製の昼食を楽しんでいました。昼食は調理の得意なボランティアで子どもに喜ばれる昼食を毎月工夫し、提供しました。この食事提供は単に食事を提供するだけでなく、我々ボランティアとの懇親が深まり、次回来場時には最近の家庭内の話題や子どもの話題など、また子どもとの会話も深まり会場が明るい雰囲気にも包まれるようになり、とても意義深い「親子食堂」事業が展開できました。ありがとうございました。



お福わけの会 (瀬谷区)
代表 飯吉 明子
助成金額 350,600円

★助成した事業・活動

お福わけの会 広報力強化

★団体紹介

設立年月

2015年12月

団体の目的・活動内容

・目的:瀬谷区とその近隣で子育て中のひとり親家庭または、生活困窮家庭を対象にしたフードバンク活動。

・活動内容:フードバンク等から提供される食料品などを、毎月2ヶ所の活動拠点で各2回ずつ無料で配布。地域の子育て支援団体や保育園と連携し、食料品などの支援だけでなく子育て相談や生活支援情報の提供、支援機関との連携などを行っている。

団体情報

住所: 〒246-0031

横浜市瀬谷区瀬谷4-7-19 NPO法人まんま内

TEL: 045-303-5393

Mail: ofukuwake.seya@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

「お福わけの会」は2016年から、経済的な不安定さのある子育て中の家庭に向けて食支援活動を行ってきました。口コミで少しずつ増えてくる対象者と、世の中のフードロス・フードドライブの動きの様子を見ながら、目の前の親子に寄り添うことを最優先に、活動を続けています。支援を必要とする子育て中の親たちに情報を届ける、寄付や活動への支援(資金、物品、人材)を募る、子どもや子育て中の家庭の現状を世の中に伝えていくための一つのツールとしてのホームページ、リーフレットの作成について助成をいただきました。自分たちの活動だけでは課題解決になるとは思っていません。HPからの情報発信で、支援側のネットワーク形成のきっかけなどにもなればと思っています。これからの活動に活用していきます。この度は助成ありがとうございました。



ふれあいっこ三ツ沢（神奈川区）

代表 小川 真奈美

助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

ふれあいっこ三ツ沢南町学習支援・ふれあいっこ三ツ沢上町プログラミング

★団体紹介

設立年月

2017年9月

団体の目的・活動内容

ふれあいっこ三ツ沢は、「未来ある子ども達に私達が出来る事をする」という目標を掲げ、子ども食堂・学習支援・居場所（学校に行きづらい子どもや外国籍の子どもの学習のサポート）・プログラミングを4か所の会館を借りて活動しています。

団体情報

住所： 東町自治会館：神奈川区三ツ沢東町2-29
南町町会会館：神奈川区三ツ沢南町10-6
上町町会会館：神奈川区三ツ沢上町8-42
中町町会会館：神奈川区三ツ沢中町4

Mail: fureaikko@gmail.com

URL: <https://kids-33-cocomm.jimdofree.com>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は30万円という高額な助成金をありがとうございました。応募致しました時点では、学習支援を行っております南町とプログラミング学習を行っております上町との2か所で使わせて頂こうと応募致し、プログラミングに使用するパソコンは3台購入予定でしたが、この際、一人一台の環境を早急に作った方が良いという結論に達し、パソコン4台を購入する事にしました。お蔭さまで新品のパソコン、しかも一人一台という恵まれた環境で、子ども達8人切磋琢磨して学んでいます。子ども達の頭脳は乾いたスポンジと同様に、あらゆる知識をどんどんと吸収していきます。そんな柔軟な頭脳を持っている子供達のためのパソコンを有効活用し、あらゆる可能性に挑戦して頂きたいと思っております。



nicoつと（青葉区）

代表 池 小百合

助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

nicoつとstation

★団体紹介

設立年月

2017年12月

団体の目的・活動内容

目的:「お互いさま」と「恩送り」が巡るコミュニティづくり

活動内容:障がい児ママを対象にしたヨガ、地域交流en活
feat.障がいのある子どもたち、障がい児親子のための
ワーキングスペースnicoつとステーション

団体情報

Mail: info.nicotto@gmail.com

URL: <https://www.instagram.com/nico.station>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成金を活用させて頂いたお陰で、障がいのある子どもと親が、気軽に集い、語り合う場を設けることができました。ありがとうございました。開催場所は1箇所から6箇所へ、活動の回数も月2回から月4～6回へ増やすことができました。場所と回数が増えることで、参加する親子に合わせた場の提供ができました。横浜市は未就学児を対象とした子育て支援が多くあることで、何度も助けられてきましたが、就学後は親も子どもも気軽に行ける場が減り、支援が途切れてしまいます。私どもは、就学前も就学後も安心して行ける場になれば、と地域に広げてきたことで、障がい児親子を中心に地域の助け合いの輪が広がっています。



NPO法人 神奈川区多文化共生の会(神奈川区)
理事長 岩間 良一
助成金額 240,000円

★助成した事業・活動

外国につながる子どもたちの居場所づくり

★団体紹介

設立年月

2004年7月

団体の目的・活動内容

当団体の基本理念のもと神奈川区で多文化共生社会を実現させることを目的としています。① 外国に繋がる人と地域の人、同じ地域の住人として理解しあう(文化、考え方の違いなど)。② 外国につながる人が、地域で活躍できるようにする。③ 外国に繋がる人と地域の人、楽しく交流できる場を作る。

団体情報

住所: 〒221-0802

横浜市神奈川区六角橋1-10-11すぺろっかく内

TEL: 045-401-8320

Mail: tabunka.yokohama@gmail.com

URL: <https://www.kanagawa-ku.com/>

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

「JA横浜子ども未来支援助成」となり、ちょうど外国につながる子どもたちの支援のためのボランティア養成講座の実施を計画していたので、目的も合致し、助成金をいただけることになり大変有難く、有効に使わせていただきました。外国につながる子どもたちは親の仕事で日本に來ますが、学校に入って日常会話ができるようになって、授業の内容を理解する学習のための言語能力をつけるには時間がかかり、自己肯定感が持てなくなっている現状があります。そのため地域で急激に増えている外国につながる子どもたちの学習支援者を養成する必要があります。今回の助成金により、ボランティア希望者が養成でき、学習支援教室が立ち上がり、来年度から始められることになりました。



横浜みどりの学校 ひまわり (青葉区)
校長 渡辺 正彦
助成金額 280,000円

★助成した事業・活動

学校教育に適用できない子供の支援

★団体紹介

設立年月

2011年6月

団体の目的・活動内容

目的: 学校教育に適用できない子どもの支援(オンラインスクール含む)

活動内容: 居場所提供、学習支援、動植物の世話やふれあい、地域行事への参加等

団体情報

住所: 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台80

URL: <http://himawari-school.jp>

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

貴団体からの助成に心から感謝申し上げます。近年、不登校児童・生徒が急増する中であって、本校の活動の社会的使命が増す中でのJA様からの助成は、本校にとって活動の大きな原動力になりました。特に本校における養鶏や農作を通しての教育活動においては、非常に利用価値のある支援であったと思います。この支援を機会に養鶏や農作といった農業活動の実践教育から、支援を受けた農業協同組合の存在意義や組織についても子どもたちに学ばせたいと思っております。本校の立地からも最適な発展学習ができると思っております。さらに、助成を受けての感想は、この助成金の使用範囲が限定的ではなく多岐にわたることで、日々の活動に柔軟に活用できることを有り難く思いました。再度心から感謝申し上げます。



特定非営利活動法人 バンブーまなび塾(港北区)
理事長 竹内 直美
助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

不登校ひきこもり、障がい等困難を抱えた、こども若者に対し貧困格差、体験格差の課題解決の為、学習支援、居場所、体験を深める事業を通し自己肯定感を高め自立への支援をする

★団体紹介

設立年月

2015年4月

団体の目的・活動内容

不登校ひきこもり、障がい等困難を抱えた子ども若者に対し貧困格差、体験格差等の課題解決の為、学習支援、居場所、体験を深める事業を通し将来への希望と自立への支援をする。

団体情報

住所: 〒222-0003 横浜市港北区大曽根2-34-26

TEL: 045-541-3897

Mail: bamboombj@gmail.com

URL: <http://bamboombjimdo.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

不登校ひきこもり、障がい、貧困という状況の中の子ども若者への支援を続けていく中で、重要な要素である運営資金について助成を受けられたことに感謝しています。学習支援に必要な参考書、理科実験用の教材購入、体験活動の星を観る会、野菜栽培、調理、食事会、居場所での工作材料、等、に助成金を充てることが出来ました。お陰様で多くの事を学ぶ機会が得られたことが子ども達の今後の進路選択や自分らしく生きていく力になり未来につながると感じています。



みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ (金沢区)
代表 山岸 重美
助成金額 136,500円

★助成した事業・活動

みんなで学ぶ ぼんぼんたいむ

★団体紹介

設立年月

2021年4月

団体の目的・活動内容

現世代の小中学生は親の就労や様々な家庭環境のもとで、放課後を塾や習いごとで忙しんでいる子どもや、一方で放課後に一緒に過ごす人がいない子どもがいます。そこで大学生や多世代のおとなたちによる学習サポーターと、宿題などの勉強をしたり話をしたり遊んだりしながらとりわけ後者の子どもたちに安心できる居場所を、また忙しく過ごす子どもたちにはホッとできる時間を提供したいと考えています。またボランティア希望のある地域の方の受け入れを図ります。

団体情報

住所: 〒236-0051 横浜市金沢区富岡東3-14-47

TEL: 045-294-2947(ジュピのえんがわ)

Mail: 20210109bonbon@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

みんなで学ぶぼんぼんたいむは子どもさん自身が利用を希望してくれれば利用可能、出欠席もふくめ何をして過ごすかは子どもの自主性におまかせが基本的なスタンスでいます。今回は宿題に精一杯取り組んでいた子どもが今回は来るなりに今日はゆっくりした一いとサポーターとの話に興じ、帰る時には「あー、今日も楽しかったあ」と言ってくれたりします。実は楽しかったという言葉は運営側のスタッフの思いであり、スタッフが子どもたちに癒されているようです。その日のぼんぼんの在りようは集まってくる子どもたちが作っているの、これからのぼんぼんはどのように成長していくのか苦難にぶつかるのか不安と楽しみが相まっているのが実情です。地域の中にそっと在る小さなぼんぼんたいむですが、子どもたちの成長を見守り、地域を豊かにする種まきのひとつになりたいと思っています。



特定非営利活動法人 峠工房（泉区）
理事長 松本 淑子
助成金額 281,893円

★助成した事業・活動

地域を学び地域とつながる事業

★団体紹介

設立年月

1969年10月

団体の目的・活動内容

知的障がい者、発達障がい児・者、小中学生や一般市民に対して、学外 支援や交流活動に関する事業を行い、社会福祉に寄与することを目的とする。(1)保健、医療又は福祉の増進を図る活動 (2)社会教育の推進を図る活動 (3)子どもの健全育成を図る活動

団体情報

住所：〒245-0018 横浜市泉区上飯田町4729

TEL：045-301-4646

Mail：mail@tougekobo.sakura.ne.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

長い間地域の歴史を伝える場として地域の人たちのなじみ深い場所であった羽太郷土資料館が閉館してから10年、私たちが指定福祉事業所として借り受けた事から今度は地域の子どもの居場所としてなじみの場となりました。また、この地域は市内でもとりわけ多種多様な人々が協力し合って暮らしています。昔からの地域の歴史を知ることが自分たちの住む国の歴史を知る事となります。資料館として整備することで日本を知り、地域を知る場として人と人をつなぎ、皆が暮らしやすい地域づくりを推進します。



NPO法人 霧が丘ぶらっとほ一む（緑区）
代表理事 根岸 あすみ
助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

子ども向け学び場事業

（日本語教室・Kids English・学習支援）

★団体紹介

設立年月

2022年3月

団体の目的・活動内容

・地域に住む様々なコミュニティの人が繋がり・楽しみ・小さな困ったことを助け合い、学び合える。そんな街づくりを目指し、シニア世代×子ども×外国の方など多様な人々が出会える場づくりを創ると共に、街のニーズを把握し、地域みんなで解決できる仕組みを創ることを目的とします。

団体情報

住所：〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3-26-1

（霧が丘商店会内）

TEL：045-489-9405

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子どもたちのおかれている環境は年々複雑になり、核家族化やコロナ禍を経て更に人との関りも希薄になっています。孤立化の一途を辿る状況の中、子どもたちにとって、学校でも家庭でもない第三の居場所があることが大切であり、それがすぐに立ち寄れる自分の住む地域にあるというのはとても大きな意味があると思います。活動を始めました。いわゆる勉強だけではなく、地域の人と関わる中で子どもが自分の居場所を見つけ、自分らしさが出せる、その様な環境をこれからも創っていきたいと思います。コミュニティカフェがオープンし、学習支援が定期開催できるようになったスタート期に活動にご賛同頂きこの様な形でお力添えを頂き、土台作りが出来ましたことに感謝申し上げます。



一般社団法人 かけはし（泉区）

代表理事 廣瀬 貴樹

助成金額 270,000円

★助成した事業・活動

まなべる個別の居場所事業

★団体紹介

設立年月

2021年5月

団体の目的・活動内容

子どもたちが安心して、自分自身を信じる力と自分の可能性を切り拓く力を育む居場所を創ることが目的である。私たちは、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を胸に刻み、一人ひとりの個性を大切にしながら多様性を尊重できる居場所づくりを行う。また生きづらさを抱える子どもたちや若者が社会的自立を図っていけるよう、様々な体験を通して、地域の人と関わりながら、生きる力を育てていけるようにする。

団体情報

住所：〒245-0018 横浜市泉区上飯田町1019-4

TEL：090-2252-1080

Mail：info@akehashi.link

URL：https://akehashi.link

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

助成をいただき、本当にありがとうございました。本助成を受けることで、不登校で悩み、集団の中に入れないお子さんに対して、居場所を提供し、1対1で寄り添うことができました。集団が苦手な子が、いきなり集団に入っていくことは難しいですが、まずは1対1の関係の中で安心して過ごす中で、次第に笑顔になり、やる気を蓄えていく様子が見られました。「こべつの居場所」の中では、様々な教材・教具を購入させていただき、子どもたちの興味関心、やる気を引き出すことができました。「誰一人取り残さない社会」の実現に向けて、自分たちの団体にできることに取り組むことができ、一人ひとりとことん寄り添うという団体の理念に向けても本事業が大きな一歩となりました。心から感謝いたします。



TIEトマトマの会（西区）

代表 山縣 紀子

助成金額 180,000円

★助成した事業・活動

トマトマ教室運営事業

★団体紹介

設立年月

2009年4月

団体の目的・活動内容

様々な背景・状況から家族の一員として移住してきた子ども達が、この国で自分らしく成長してその思いや力を出せるように安心して学べる場を作る。ボランティア学習指導も、子ども達の理解者としてその心意気でサポートしつつ、共に多文化な社会に貢献する。

団体情報

住所：茅ヶ崎市

Mail：noriko-noko@ozzio.jp

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍からの制限もいづらか緩和されるようになって、学習者もまた戻ってきたかと思います。今年度は高校受験者も7名、お陰様でそれぞれの志望高校に進学することができました。今後もまた助成金を頂いたことで変わることなく「来るもの拒まず」の思いで受け入れる体制が取れることを有難く思います。この教室が子ども達にとって意義のある場になるようトマトマー同心から願っています。



NPO法人 スペースナナ（青葉区）

代表理事 柴田 暁子

助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

ナナde寺子屋

★団体紹介

設立年月

2010年12月

団体の目的・活動内容

世代や性別、障がいのあるなし、国籍などにかかわらず、だれもが安心して立ち寄り交流できる場をめざしてコミュニティカフェを運営。ギャラリースペースやショップ、地域文庫などを併設している。〈社会を変えるたまり場〉として講座やイベントを通じて情報発信し、集い・語り・遊ぶ場を提供するほか、居場所立ち上げの支援や地域の身近な相談場所として、中間支援的な役割も担っている。

団体情報

住所：〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野1-21-11

TEL：045-482-6717

Mail：spacenana@gmail.com

URL：https://spacenana.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

スペースナナは創設から13年が経ち、運営メンバーの高齢化が課題となっていました。新たに子育て世代が加わり新事業の立ち上げにチャレンジしています。その一つとして、この度の助成を受け「ナナde寺子屋」がスタートしました。障がい児や不登校児のいる家庭、ひとり親家庭の親といった当事者性の高いメンバーが中心となって事業を行っていることで、参加者の心理的なハードルをさげることができ、これまで支援の届かなかった家庭にもアプローチできていることを実感しています。当事者でありながらもスタッフとして活動する姿に、参加する親子がエンパワーされ、共助の意識や地域活動への自発的な思いが芽生え、「次は自分も地域のために何かしてみたい」という声も聴こえるようになってきました。これからも、支援にとどまらず、小さなチャレンジの第一歩をみんなで応援できる場にしていきたいと思います。



一般社団法人 とえはたえ（港北区）

代表理事 斎藤 浩司

助成金額 190,000円

★助成した事業・活動

菊名なごみ塾

（ハイブリッド型不登校児童生徒無料学習支援）

★団体紹介

設立年月

2023年3月

団体の目的・活動内容

目的：広く教育文化の振興に資する事業を行い、教育及び文化の水準の向上及び発展に寄与することを目的とする。
内容：毎週土曜日朝7時から「GIGAおしゃべり交流会」を開催・不登校児童生徒への学習支援（菊名、大倉山、大豆戸地区対象）・教育関係社向けの研修企画、および研修講師。

団体情報

住所：〒222-0001 横浜市港北区菊名5-17-1

Mail：akasikotaro@gmail.com

URL：https://www.toehatae.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

・法人設立後、初めての助成を受けて事業がスタートできた。・5月の募集開始から、間もなく6月から不登校児童生徒への学習支援が始まった。・現在は8人の学習支援をおこなっている。うち、通塾は7名（うち週2回4名）、オンライン1名。・通塾生は、近隣小学校3校から。学校とも連携し、学習記録を毎月送付している。・常時、相談フォームにて相談を受け付けている。これまで、相談は14件。（通塾に至らないケースもあった）・学校側、SSW（スクールソーシャルワーカー）、療育などの紹介もありがたかった。・横浜市教育委員会、近隣学校、民生委員、主任児童委員の視察もあった。



特定非営利活動法人 介護支援協会（神奈川区）
理事長 城山 悠
助成金額 242,861円

★助成した事業・活動

駄菓子屋キンコン館

★団体紹介

設立年月

2003年10月

団体の目的・活動内容

駄菓子の販売、子どもの居場所提供、施設お年寄りと地域の方の交流

団体情報

住所：〒221-0854 横浜市神奈川区三ツ沢南町13-3

TEL：045-290-0356

Instagram：kaigoshien_kyokai

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

当施設で地域子ども達に向けた駄菓子屋を運営したい、ご利用者と地域との交流、お互いに良い経験を得られ、且つ職員も日々の業務とは違う楽しさを得られるのではないか。という想いから、駄菓子屋屋台キンコンカンの構想が生まれました。幸いな事に当施設には元大工の職員がおり、屋台製作は構想段階からかなり具体的にイメージがあり、後は資金をどこから捻出するか。が大きな課題でした。そんな時、ある職員が「子ども未来支援助成の」話を持ってきてくれました。申請期限まで時間が無く、すぐに数名の職員でプロジェクトチームを組み、子どもの居場所事業とし申請し、助成決定して頂く事ができ、当施設としては最短、最速で夢を叶える事ができた所存でございます。本当にありがとうございました。



特定非営利活動法人 青空保育ペンペンぐさ
(青葉区) 理事長 井上 香織
助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

安心子育てのたねをまこう

～のびのび子育てと外遊び体験会・講演会の実施～

★団体紹介

設立年月

2012年3月

団体の目的・活動内容

自然の中でのびのび遊ぶことで発揮される「みずから育つ力」を尊重した乳幼児保育事業の中で、保護者とともに育ち合いを支えるコミュニティをつくり、また、幅広く地域の一般親子への子育て支援事業も行なう。さまざまな年齢層にむけて外遊び・自然体験の価値を伝え、「安心して子育てできる地域のつながりづくり」に寄与する。

団体情報

TEL：090-9147-3027

Mail：aoba.penpengusa@gmail.com

URL：https://penpengusa.org/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、助成いただきありがとうございました。おかげさまで、今年度は毎月の「あそぼう会」は毎回10組以上の申し込みがあり、講演会は3年ぶりにリアル開催することができました。講演会は後日配信も合わせ79組の申し込みがあり、会場ではあたたかい雰囲気の中で一体感を感じることができ、オンラインでは全国の子育てに悩む母親たちに安心感を届けることができました。「あそぼう会」はリピーターも多く、直接顔を合わせておしゃべりすることでつながりを実感し、そしていきいきと外で遊ぶ子どもの姿を見て笑顔で帰っていく親子を見て、「ひとりで子育てしないで」という私たちのメッセージが届いていることをうれしく感じています。今後もつながりを実感する場を提供し続け、安心して子育てできる地域づくりを目指し活動を続けていきたいと思います。



NPO法人 街の家族（青葉区）

理事長 押久保 美佐子

助成金額 170,000円

★助成した事業・活動

子どもの未来と夢へ、地域の人・団体・社会 皆で取り組む
子ども事業づくり

★団体紹介

設立年月

2012年6月

団体の目的・活動内容

地域の世代間交流が希薄化する中で、3.11を契機に「出来る人が、出来ることで参加をモットーに、どんな時にも繋がりが合い、助け合える」地域づくりを目指し、2012.6任意団体「街の家族」の活動を、青葉区奈良町の空家でオーナーさんのご厚意を頂きながら始めました。コロナ後の新生活環境でのこれからの活動を考え2020年8月にNPO法人を設立しました。

団体情報

住所：〒227-0036 横浜市青葉区奈良町1566-332

TEL：070-4400-1306

Mail：machikazoku@yahoo.co.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成をいただき、ありがとうございました。こどもの国近く、住宅地の真ん中の空家で三世代が集うコミュニティハウス【街の家族（「街」）】を運営しています。初めて「街」を訪れた方からは「田舎のおばーちゃんみたい」のご感想をよくいただきます。奈良川の源流域、四季折々の豊かな自然、多くの子育て世代の転入が目立つ地域です。新型コロナを体験し私達は今、【発足以来10年で積み上げてきた地域での“人”や“場”の繋がりを、今後の地域福祉サービスに活かす事業の展開（NPOの事業）】を進めています。介護未満、保育未満、不登校課題等、現行の制度の狭間に落ちてしまう方々が増加しています（大きい【課題】）。【課題】対応には、多くの活動主体による“力合わせ”が必要です。助成金は、私達の活動で“今”最も必要と思う【子どもサードプレイスの実現へ】の力合わせに活用させて頂きました。子育てのしやすいまちへ、シニアが元気なまちへ、三世代が普段着で関わりあい過ごせる日常、私達の願い♥



わたぼうし教室（港北区）

代表 大元 麻美

助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

移住者・難民など外国にルーツがある子どもたちの居場所づくり事業

★団体紹介

設立年月

2013年4月

団体の目的・活動内容

日本にデカセギに来た親を持つ子どもたちや、国際結婚で生まれた子ども、また難民の子どもたちを対象とした無料の学習支援教室です。日本語が分からないため、学校の授業についていくことに大きな困難を抱えています。低学力問題は、進学・就労にも影響し、それは「貧困の負の連鎖」に直結していきます。子どもたちが国境を超えても、「自分の花」を咲かすことができるように、子どもたちが安心して学び続けることができる環境を提供したいと努力を続けています。

団体情報

TEL：090-1508-9483

Mail：yokohamaminamiintltschool@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

日本に来たばかりで日本語が分からないまま、公立小・中学校に編入する「外国ルーツの子ども」たちの数は減ることがありません。言語の問題で、勉強が分からず年齢相応の学力を身に付けることができずに困難を抱えている子どもたちのサポートして10年以上になります。貴助成金に助けられて、2023年度は学習支援を支える学生たちの交通費等にあてることができ、事業を継続することができました。心より感謝申し上げます。子どもたちも、学生たちも、地域を支える大きな力になることにより恩返しができればと思っております。



こども食堂ハレの日ケの日（西区）

代表 鈴木 菜穂子

助成金額 219,166円

★助成した事業・活動

本町小学校学習支援室・こども食堂ハレの日ケの日

★団体紹介

設立年月

2019年11月

団体の目的・活動内容

目的:こども時代の豊かな経験と人の関係性を育みます。

内容:こども食堂、居場所開放

団体情報

住所: 〒220-0032 横浜市西区老松町54

TEL: 045-262-5770

Mail: harenohi.kenohi.kids@gmail.com

URL: www.harenohi-kenohi.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年度からの個別支援級との関わりは、「学校以外の居場所で安心して遊ぶ」ことから始まり、祭りを開催して「地域の人たちに楽しんでもらう」ところまで広がりました。今年度は、自分たちでデザインしたマーク入りのエプロンをつけ、綿菓子、ヨーヨー釣りなどの各ブースを責任を持ってこなし、大きな達成感と自信を得ました。又、新しい居場所の看板作りや季節の飾り付けなど主体的な関わりにより、確実に「自分たちの居場所」になってきています。「プラネタリウムを作りたい」「いちご飴を作って食べたい」など、それぞれの願いを叶えられるかけがえのない場所として続けていく為に、この度の助成金はとても大きな力となりました。1年間の活動を終え、ひとまわり大きくなったこどもたちが「ありがとうの会」を開いてくれました。私どもの感謝の気持ちと共にご報告させていただきます。



NPO法人 街カフェ大倉山ミエル（港北区）

理事長 鈴木 智香子

助成金額 180,000円

★助成した事業・活動

地域の親子と考える、野外活動を中心とした居場所づくり

★団体紹介

設立年月

2010年11月

団体の目的・活動内容

横浜市港北区民を始めとする市民に対して、地域のコミュニティづくりに関する事業を行い、横浜市港北区大倉山を中心に地域のまちづくりの推進に寄与することを目的とする。

団体情報

住所: 〒222-0037 横浜市港北区大倉山5-32-26

TEL: 045-717-6778

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の活動において、多くの乳幼児連れの親子に参加していただきました。「みつばち探検隊」ではミエルを拠点とし、様々な場所に親子で出かけ、地域で活動している方とコラボをすることにより、自主的な活動を広げ地域とのつながりを強化することができました。「森のようちえん」では、公園内の四季折々の自然を観察、体験し、豊かな感性を育みました。「ミエル畑部」では、親子で楽しめる食育をテーマに多世代交流や、地産地消を行いました。農作業を一貫して行うことで、食や栄養の理解を深め学びました。これらの活動を大倉山記念館アートジャムで紹介することで、より幅広い年代の方や他団体への認知につながったと感じています。今後も地域の親子が自主的に参加でき、つながる機会を作っていきたいと思います。



ねっこカフェ（保土ヶ谷区）
代表 伊藤 奈美
助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

登校に困難を抱える親子の居場所

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

登校に困難な子ども達に、学びの場を提供し、安心して過ごすことのできる居場所を提供する。そして、子どもが社会体験をできるように、イベントや体験プログラムなどを企画する。活動を通して、親子が孤立することを防ぎ、楽しく過ごせる場をつくる。

団体情報

住所：横浜市保土ヶ谷区狩場町301-56
アルカディア壱番館102

TEL： 045-517-0834

Mail： nekkocafeyokohama@gmail.com

URL： <https://nekkocafejimdosite.com>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ねっこカフェは令和4年から活動をはじめました。当初は不登校、または学校に行くのが辛い子や、その親達の当事者の会のような活動でした。少しずつボランティアや参加者も増え、課題を抱える親子を応援していく居場所へと変わっていきました。駅から遠い急坂の上の立地から、参加者はあまり多くはありませんが、行政などの相談場所が遠い地域のため、大切な居場所となっています。助成を受けて団体の基盤を作っていく事ができ、大変感謝しております。まだまだ活動には課題も多く、今後は連携していたNPO法人パオパオの木の事業として運営していく事になりました。困難を抱える親子を応援していける活動となるように、頑張っていきたいと思います。これからも応援よろしくお願い致します。ありがとうございました。



特定非営利活動法人 DV対策センター（青葉区）
代表理事 穂志乃 愛莉
助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

DV・虐待被害を受けた子ども及びひとり親世帯の子どものための学習支援・居場所支援

★団体紹介

設立年月

2020年3月

団体の目的・活動内容

すべての女性と子ども達、若者が、夢と希望を思い描いて生きていける社会を目指して、DV・虐待・貧困の連鎖を防ぐ活動を行っています。主に、①DV・虐待被害者の相談支援 ②DV・虐待被害者のためのシェルター運営 ③避難後の子ども及び母子家庭の子ども達のための学習支援・居場所支援 ④トラウマケア・エンパワメント講座の開催、啓発活動支援 ⑤食支援・お弁当配布、就業支援、同行支援などのアフターフォロー支援などを行っています。

団体情報

住所： 横浜市青葉区

TEL： 045-482-3422

Mail： dv.taisaku@gmail.com

URL： <https://dvtaisaku.jp>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回の助成をいただき、虐待や親の離婚を経験するなど様々な困難を抱えた子ども達に対して学習支援や居場所支援を提供することができました。中でもエンパワメント講座を開催することにより、暴力容認の思考からの脱却、倫理観の是正、自己肯定感の向上に寄与いたしました。虐待の影響で、家から出られなくなってしまった子どもには、メタバースを使って英語教室やエンパワメント講座を行いました。虐待被害を受けた子ども達やひとり親世帯の子ども達が自信を取り戻し、社会と繋がることができました。様々なサポートを包括的に行うことで、DV・虐待・貧困の連鎖を防ぎ、子ども達の夢と希望を支え、子ども達の未来を応援することができました。



おはなしの風（泉区）

代表 森川 美代子
助成金額 290,000円

★助成した事業・活動

みんなの絵本のおうち

★団体紹介

設立年月

2014年7月

団体の目的・活動内容

絵本の良さをいかして、心のケアを目的に、絵本の読み伝えをする。

みんなの絵本のおうちの運営

団体情報

住所： 横浜市泉区いずみ中央南5-4-11

TEL： 045-295-2104

Mail： picturebookshouse@gmail.com

Instagram： picture_books_house

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

絵本のおうちという居場所を持つことで、いつでも好きな時に、必要と感じる絵本を読めるようになりました。子どもだけでなく、絵本を聴く大人(ママを中心にシニアの方)が、笑顔になったり、感動して涙されることがあります。そんな時、絵本を読み伝える活動、居場所の大切さを感じます。が、場の運営には、労力や費用、気力などが必要となります。助成を受けることで、経済的援助だけでなく、活動への応援を感じ、安心して頑張れる意欲が生まれます。どうぞこれからも、絵本の良さを活かした私たちの活動を応援していただけたら、心強いです。



NPO法人 子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ
(鶴見区)

理事長 青島 美千代
助成金額 300,000円

★助成した事業・活動

不登校を体験した若者と作る「ほっとスペース」

★団体紹介

設立年月

2008年5月

団体の目的・活動内容

目的：学校や家庭・地域の中に居場所を見いだせない子どもや若者たちが、安心して過ごせる居場所、学校外での出会いと学びの場を共に作り、人とつながりながら、自分らしく生きていける環境を模索し、その実現に寄与する

活動：①不登校の子どもや不登校を経験した若者の居場所②親の会などの交流や相談③講演会等の学習、交流及び情報の提供、発信

団体情報

住所： 〒230-0061

横浜市鶴見区佃野町1-7 深谷ビル202

TEL： 045-834-7970

Mail： info@freespace-tanpopo.com

URL： <https://freespace-tanpopo.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回、助成金は主に子どもたちの活動を支えてくれる若者への謝金として使わせていただきました。たんぽぽでは、在宅が多い不登校の子どもたちが参加できるようにオンラインもかねた「ゆるっとゲームくらぶ」をスタートしました。ゲームは子どもたちの共通語になっています。子どもたちが楽しく家庭以外の人とつながること、そしてそれを入り口にして、いろいろな活動へと興味を広げることを大切にしています。また、ゲームくらぶの運営には若者の力が必要です。たんぽぽを卒業した若者が中心に子どもたちの活動を支え、お金を受け取ることで仕事することへの自信にもつながっています。財政が厳しい中での運営なので助成金をいただき、活動を継続することができました。本当にありがとうございました。



「JA横浜 子どもの未来支援助成」 報告・交流会

横浜市内で活動する42団体が大集合

日時: 令和5年10月7日(土) 10:00~12:00

場所: JA横浜 みなみ総合センター 4階ホール

横浜市泉区中田西2-1-1

(交通)横浜市営地下鉄「立場駅」から徒歩6分
横浜市営地下鉄「中田駅」から徒歩10分

基調報告:『横浜市のこどもの今』

講師: 横浜市子ども青少年局
課長 柿沼 千尋 氏



■ 参加団体 ■

【泉 区】コミュニティしんばし食堂

だんだんの樹

宮ノマエストロ

【磯 子 区】キッズカフェ杉田

こどもすまいる食堂

【金 沢 区】金沢子ども食堂すくすく

さくら茶屋にししば

もりのお茶の間

【港 南 区】港南台こども食堂みんなのカフェ

【港 北 区】キッチンひろば

【都 筑 区】コドモノトナリ

【鶴 見 区】平安・ふれあい食堂

【戸 塚 区】mignon

【中 区】あっちこっち

【保土ヶ谷区】居場所そら

【南 区】子どもフリースペースいらっしやい
運営委員会

フードバンク

【神奈川区他】フードバンク横浜

【瀬 谷 区】お福わけの会

さくらんぼ

【戸 塚 区 他】フードバンク
浜っ子南

【青 葉 区】青空保育べんべんぐさ

スペースナナ

DV対策センター

nicoっと

街の家族

横浜みどりの学校
ひまわり

学習支援居場所

【泉 区】おはなしの風

かけはし

峠工房

【神 奈 川 区】介護支援協会

神奈川区多文化共生の会

TIEトマトマの会

ふれあいっこ三ツ沢

【金 沢 区】みんなで学ぶ

ほんほんたいむ

【港 北 区】街カフェ大倉山ミエル

バンブーまなび塾

とえはたえ

【鶴 見 区】フリースペースたんぽぽ

【西 区】こども食堂ハレの日ケの日

【保土ヶ谷区】ねっこカフェ

【緑 区】霧が丘がうっとほーむ

【南 区】わたぼうし教室

JA 横浜子どもの未来支援助成報告交流会 報告

●日時 令和5年10月7日(土) 10:00~12:00

●場所 JA 横浜 みなみ総合センター 4階ホール 横浜市泉区中田西 2-1-1

●参加者：助成団体 32団体 45名 ・来賓 4名・主催者 4名 ・一般参加 6名 合計：59名

●プログラム

・開会挨拶 JA 横浜 常務理事 柳下 充 氏

公益財団法人 かながわ生き生き市民基金 理事長 荻原 妙子 氏

・基調報告 横浜市こども青少年局総務部企画調整課 課長 柿沼 千尋 氏



・助成団体紹介・・42助成団体

・助成団体活動報告&インタビュー

『金沢子ども食堂すくすく』代表 加々美 マリ子 氏

『(特非) フードバンク浜っ子南』代表理事 下山 洋子 氏

『一般社団法人 かけはし』代表理事 廣瀬 貴樹 氏

・交流タイム



・閉会挨拶

JA 横浜 常務理事 岩澤 邦弘 氏



公益財団法人 かながわ生き生き市民基金とは・・・

◆ 成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合（1971 年創立）は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関が無いため、自前の財源による市民バンク（「女性・市民コミュニティバンク」の前身）をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいに関わる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団法人かながわ生き生き市民基金」を設立しました。

◆ ミッション

＜投資して利潤を稼ぐことが経済＞という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平等など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きにくい社会になっています。

かながわ生き生き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆ 基金の事業・活動

かながわ生き生き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を通じた市民活動・事業への支援です。11,000 人を超える意思ある生活クラブ組合員の月 100 円寄付を基本財源とした「福祉たすけあい助成」を中心に、個人や団体・企業からの寄付を助成金の原資とし、寄付者オリジナルの助成プログラムを作る「オーダーメイド助成プログラム」、格差・貧困が広がる中、様々な困難に直面する子どもたちへのサポート活動を応援する「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」などに取り組んでいます。

助成事業を中心に、研修セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業を行っています。



公益財団法人

かながわ生き生き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6F

Tel : 045-620-9044 Fax : 045-620-9045

Mail : info@lively-citizens-fund.org

URL : <http://www.lively-fund.sakura.ne.jp>

Facebook : <http://www.facebook.com/livelycitizensfund>

発行日：2024 年 5 月 1 日 発行部数：1100 部